

平成 22 年度 第 2 回杉並区障害者福祉推進協議会 次第

- 1 障害者施策課長の開会・挨拶
- 2 会長挨拶
- 3 報告
 - (1) 障害者生活支援課からの報告（資料 1）
 - (2) 平成 22 年度障害者週間事業について（資料 2）
 - (3) 第 2 期障害福祉計画の進捗状況について（資料 3）
- 4 議題
 - (1) 平成 22 年度杉並区障害者基礎調査内容について（資料 4）
- 5 その他
- 6 閉会

【配布資料】

- 資料 1 障害者生活支援課からの報告
資料 2 平成 22 年度障害者週間事業について
資料 3 第 2 期障害福祉計画の進捗状況について（※当日席上配布になります）
資料 4 平成 22 年度杉並区障害者基礎調査（案）

【参考資料】

平成 21 年度杉並区保健福祉サービス苦情調整委員運用状況報告書

障害者生活支援課からの報告事項

1 清掃業務における障害者雇用のあり方に関する調査について

(1) 調査目的

今後の障害者の雇用促進を図っていくため、区における清掃業務において、障害者雇用のあり方の実証と検討を行う。

(2) 調査内容

区本庁舎等において、障害者が清掃業務に従事する中で、障害者の就労における課題を抽出し、障害者雇用の推進に向けた課題の整理を行う。

(3) 調査期間

平成23年1月から平成24年3月31日(1年3ヶ月)

(4) 調査委託先

調査は財団法人杉並区障害者雇用支援事業団に委託する。

(5) その他

調査結果を踏まえ、今後の区本庁舎等における清掃業務における障害者雇用の取組について検討していく。

2 発達障害者の社会適応支援事業（試行）の実施状況について

(1) 実施場所

杉並障害者自立生活支援センター すだち

(2) 実施期間

平成22年6月週1回、7月より週2回の実施、現在も実施中

(3) 実施内容(9月末現在)

対象者24名(本人18名、家族支援機関6名)に心理療法士、作業療法士による個別支援(来所、訪問等)を実施

3 杉並区歯科保健医療センター移転に伴う、オブリガードの事務所移転について

杉並区歯科保健医療センター(下井草4-30-23)を杉並保健所5階に移転するのに伴い、地域生活支援センターオブリガードを、杉並保健所2階に移転する。(平成23年5月予定)

平成 22 年度 障害者週間事業について
＜ふれあいフェスタ 2010＞

1 開催目的

障害者基本法で、12月3日から12月9日を「障害者週間」と定め、障害のある人もない人もお互いにふれあう機会を通じて障害者への理解を広め、障害者が地域での活動に積極的に参加する意欲を高めるために「障害者週間」にちなんだ様々な催しを行います。

2 「杉並区障害者週間事業」の期間

平成 22 年 11 月 29 日（月）から 12 月 5 日（日）まで

3 主 催 杉並区障害者週間事業実行委員会・杉並区障害者団体連合会・杉並区

4 事業計画

(1)ふれあい美術展

内容：障害者団体・施設利用者、特別支援学級の児童・生徒の作品を展示
期間：11月30日(火)から12月4日(土)まで
会場：区役所2F区民ギャラリー

(2)障害者施設・団体紹介パネル展・ポスター原画展

内容：区内で活動している障害者施設・団体の紹介パネルの展示、ポスター原画応募作品の展示
期間：11月30日(火)から12月4日(土)まで
会場：区役所1Fロビー

(3)クリスマスフェスタ

内容：すぎなみ仕事ねっと主催で、区内障害者施設による手作りクリスマス商品の販売
日時：12月3日(金)、16日(木)、17日(金) 11時から15時まで
会場：区役所1Fロビー

(4)障害者自立生活者・自立支援功労者表彰式、コンサート等

内容：平成 22 年度杉並区障害者自立生活者・自立支援功労者受賞者に対する表彰式
介助犬デモンストレーション
E v e r l y コンサート（男性 4 人のクラシック & ポップスバンド）
日時：12月5日(日) 13時から15時まで
会場：セシオン杉並ホール

(5)模擬店・中庭イベント

内容：食べ物を中心とした模擬店の開催
手話コーラス・手話ダンスの発表、合田晃ミニコンサート
日時：12月5日(日) 10時から15時まで
会場：セシオン杉並中庭

5 障害者週間事業のPR方法

- (1)広報すぎなみ 11月21日号掲載
- (2)の～まらいふ杉並（障害のある方向け生活支援サイト） 区公式ホームページ
- (3)関係団体情報誌「ふれあいやなぎくぼ」「連合会だより」に掲載

杉並区障害者計画・第2期障害福祉計画 平成21年度進捗状況

杉並区障害者計画・第2期杉並区障害福祉計画(以下「障害者計画・障害福祉計画」という。)は、平成25年度末を中期的目標とし、平成21年度から平成23年度までの3ヶ年を計画期間としています。

(障害者計画は障害者基本法、障害福祉計画は障害者自立支援法に基づく計画です。)

障害者計画・障害福祉計画では、めざす将来像を「**障害のある人が自分らしく生きることのできるまちづくり**」とし、3つの視点と10の推進プランを柱として策定しました。10の推進プランでは、主要な事業の整備目標と確保策を示し、将来像の実現に向けた基盤づくりをすすめていくこととしています。

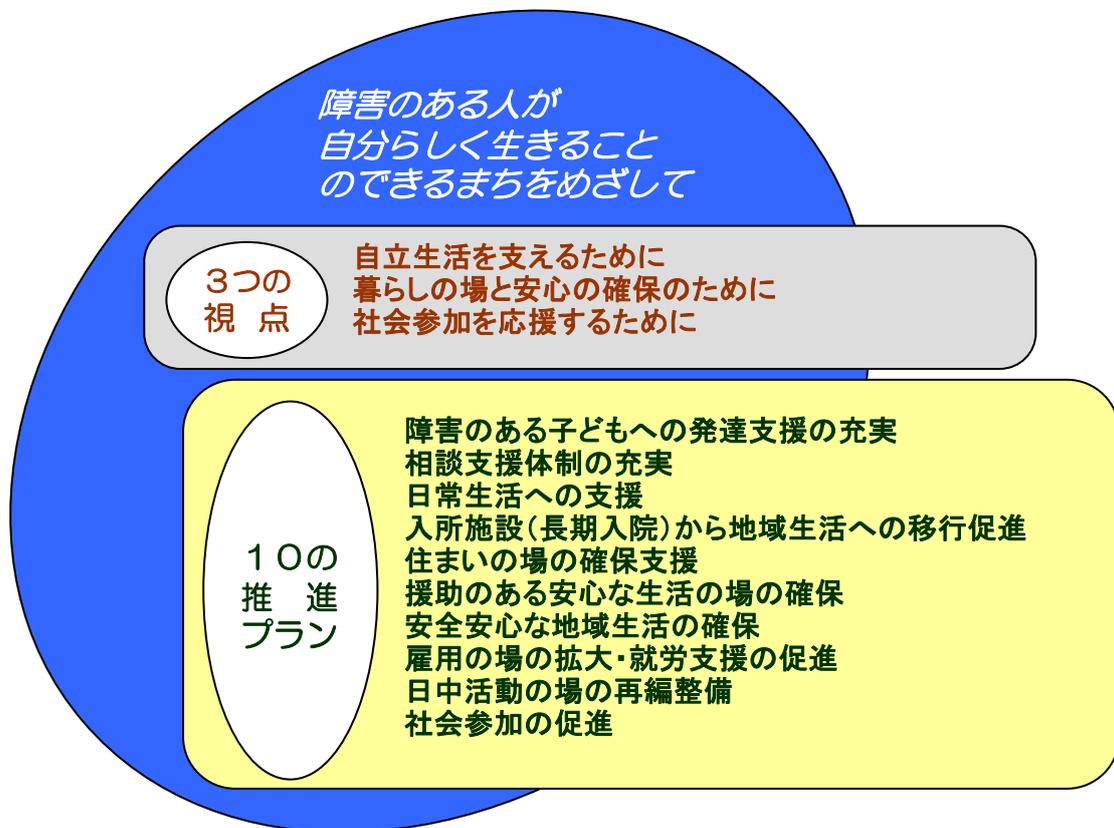
今般、平成21年度における主要事業の進捗状況について把握できましたので報告します。

なお、障害福祉サービス、地域生活支援事業の見込み量と利用実績、また福祉施設からの地域移行などの目標と実績を巻末に記載しています。

もくじ

	ページ
推進プラン1 障害のある子どもへの発達支援の充実	1
推進プラン2 相談支援体制の充実	3
推進プラン3 日常生活への支援	5
推進プラン4 入所施設(長期入院)から地域生活への移行促進	7
推進プラン5 住まいの場の確保支援	8
推進プラン6 援助のある安心な生活の場の確保	9
推進プラン7 安全安心な地域生活の確保	10
推進プラン8 雇用の場の拡大・就労支援の促進	12
推進プラン9 日中活動の場の再編整備	14
推進プラン10 社会参加の促進	15
○障害福祉サービス 計画数値と利用実績(第1期～)	18
○地域生活支援事業 計画数値と利用実績(第1期～)	19
○障害福祉計画の目標数値と進捗状況	20
・福祉施設からの一般就労者数	
・入所施設からの地域移行者数	
・精神科病院からの退院促進者数	

3つの視点と10の推進プラン



推進プラン1 障害のある子どもへの発達支援の充実

(1) 相談・療育体制の充実

① 早期療育体制の充実

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	充実
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>発達に心配のある子どもに対し、母子保健と福祉とが連携して健診後の支援体制を充実し育児支援を行います。必要に応じて、こども発達センターでの専門相談、療育支援につなげます。こども発達センターを中心に、児童デイサービスの充実を図り、一人ひとりの発達に応じた療育を個別指導とグループ指導を組み合わせ実施します。さらに、保健・医療・福祉・教育などの関係機関が協力し、乳幼児期から学齢期へ継続した支援体制を確立します。</p>			<p>幼稚園・保育園等で集団活動に困難を抱える子供の相談件数が増加しています。言語心理指導の需要に対応するため年度途中より専門職員を増員して対応しました。また、保護者とともに子供に対する理解を共有し深めることで、保護者の育児上の困難を軽減しました。</p>	

② 発達障害児への早期発見・支援体制の充実

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>幼児期の集団活動や対人関係に困難のある子どもに対し、こども発達センターと保健センターとが協力し幼児期の発達相談を実施し、専門的な支援につなげます。こども発達センターでの療育機能を拡充し、グループ指導を区立施設等身近な場所で実施し、早期支援体制の充実を図ります。</p>			<p>幼稚園・保育園等と連携し発達相談案内用チラシや相談申込票の設置を行い、心配を抱える保護者が適切に相談できるよう取り組みました。グループ指導では、利用者の地域の利便性を考慮し区立施設や私立幼稚園を会場に区内5ヶ所で指導を実施しました。</p>	

(2) 保育園・幼稚園への支援

計画数値	平成19年度末現況	障害児指定園 5園	(参考)平成20年度末実績	障害児指定園 5園
	平成25年度末目標	6園	平成21年度末実績	5園
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>障害のある子どもが地域の子どもたちと触れ合いながら発達していけるように、巡回指導を強化し幼稚園・保育園を支援します。職員への助言や保護者の相談に応じ、専門機関との橋渡しを行います。特別な保育条件が必要な障害のある子どものために、保育環境を整えた障害児指定園の整備をすすめるとともに、一般園での受入体制の充実を図ります。</p>			<p>障害児が在籍している保育園・幼稚園に医師、心理職を派遣し、職員に対して助言を行なっています。21年度の派遣回数数は315回でした。なお、障害児指定園(保育園)はH22年度より6園となります。幼児期の支援を学校での支援に活かすためのより効果的な手法について、巡回指導体制を見直すことが必要です。</p>	

(3) 学齢期の障害児への支援

① 児童館・学童クラブへの支援

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>障害のある子どもたちが地域とともに楽しめるようにプログラムを充実させ児童館の活動を通じ、仲間づくりを支援します。また、すべての学童クラブで障害児を受け入れるとともに、巡回指導を実施し、重度重複障害児や発達障害児等障害に応じたきめ細やかな対応を図ります。</p>			<p>1クラブ最大4名、堀ノ内南と上狹学童クラブは6名、高円寺北学童クラブは別枠で6名の重度重複障害児を受け入れました。専門家による巡回指導を実施し、障害児一人ひとりについてきめ細やかな対応しました。</p>	

②障害児の日中支援(児童デイサービス・地域デイサービスの充実)				
計画数値	平成19年度末現況	児童デイサービス 1施設	(参考)平成20年度末 実績	1施設
	平成25年度末目標	2施設	平成21年度末 実績	1施設
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>児童デイサービスでは、発達に遅れのある子ども(主に幼児期)に対し、一人ひとりの発達に応じた療育を個別指導とグループ指導を組み合わせ実施し、発達全体を促します。また、地域デイサービスでは、知的障害や発達の遅れのある子ども(主に学齢期)に対し、創作活動や集団活動、一人ひとりの発達に応じた療育支援を通じて、子どもの社会性や発達を促進します。地域デイサービスは、区の独自事業として実施しており、今後、事業内容が類似する日中一時支援事業との整合性を図ります。</p>			<p>児童デイサービスは一人ひとりの心身の状態や療育目標を保護者と共に共有し、より質の高い専門的支援を実施し効果を上げました。</p>	

③特別支援教育の充実				
計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末 実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末 実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>幼児期の早期療育の効果を学齢期の学校教育に反映させるために、教育委員会と協力して「就学支援シート」の活用を推進します。また、地域の中で将来にわたって途切れることのない支援を行うため、地域子育てネットワークを活用し、特別支援学校、済美教育センター等と保健・福祉の関係機関が連携し、ケース会議等を通して障害を背景とした諸課題の解決にあたります。</p>			<p>早期療育の効果を学齢期の学校教育に反映させるために、教育委員会と協力して「就学支援シート」の活用を勧めました。様々な障害に対する療育支援を適切に実施し、幼児期から学齢期まで途切れることなく支援できるよう、幼児期の障害児支援のあり方について、学識経験者を交えた検討会を設置します。</p>	

推進プラン2 相談支援体制の充実

(1) 相談支援機関の充実

①相談窓口の整備

計画数値	平成19年度末現況	3ヶ所	(参考)平成20年度末実績	5ヶ所
	平成25年度末目標	7ヶ所	平成21年度末実績	6ヶ所
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>障害者が、必要なときに地域の身近なところで相談支援が受けられるよう、自立生活支援センター及び相談支援事業所を設置し相談支援体制の充実を図り、3障害に対応する総合的な相談及び個人に応じた専門相談を行います。また、緊急時の相談支援の窓口として、自立生活支援センター「すだち」で24時間対応します。</p>			<p>平成21年度新たに相談支援事業所なでしこを開設しました。併設されている入所支援施設の特長を活かし、緊急時の24時間対応やPT・OTによる専門相談を実施しました。</p>	

②専門相談の充実

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	実施・充実	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>高次脳機能障害の専門的な相談について、相談窓口を設置し相談支援体制を充実していきます。また、本人や家族からの相談のほか、医療機関等との連携、関係者連絡会や障害の理解のためのセミナーなどを行います。発達障害については、現行の子どもの発達相談を充実するとともに、成人に対する相談体制を検討します。</p>			<p>オブリガード内に高次脳機能障害の専門窓口を設置し、相談を受けています。また、子ども発達センター内に、子どもの発達障害専門相談を設置し、相談を受け付けています。なお、成人期の発達障害については相談支援事業所内での相談事例を検討しました。</p>	

(2) 地域自立支援協議会の充実

計画数値	平成19年度末現況	設置・運営	(参考)平成20年度末実績	充実
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	充実
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>障害者の地域自立生活の実現のために、地域自立支援協議会が、関係機関のネットワークの中核としての役割を担います。また、地域自立支援協議会のもとに設置する専門部会の充実を図り、障害者本人の視点に基づく相談支援のあり方を検討するとともに、不足している社会資源を検証し、施策の充実につなげていきます。</p>			<p>全体会を年3回開催し、相談支援事業からの視点として地域の課題について論議しました。専門部会である相談支援部会と地域移行促進部会では、主に高齢障害者の支援と地域移行後の住まいのあり方についてそれぞれ論議しました。</p>	

(3) ピア相談等の充実

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>身体障害者・精神障害者及び知的障害者や障害者の家族のピア相談の充実を図るため、ピア相談を行う人材の発掘、養成や活用に取り組めます。また、相談だけでなく、当事者としての経験を生かして、障害者自身が他の障害者の援助を行う、ピアサポートの体制づくりを行います。</p>			<p>身体障害者と精神障害者へのピア相談を「やなぎくぼ」と「オブリガード」で実施しています。相談員は相談対応する中で経験を重ねています。なお、知的障害者や障害者の家族へのピア相談は、部分的に実施している状況にあります。</p>	

(4) 自立を支援する情報提供の充実				
計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末 実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末 実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>区広報や「の一まらいふ杉並」などへの掲載を充実します。また、自立生活支援センターや相談支援事業所において、障害者自立支援法のサービスを含む保健福祉・医療サービス等の情報をわかりやすく提供するとともに、サービス事業者に関する情報提供冊子を作成するなど障害者の情報取得について、便宜の向上に努めていきます。</p>			<p>区広報や「の一まらいふ杉並」へ必要に応じて情報の掲載しています。21年度にサービス提供者の情報冊子を作成し配付しました。</p>	

(5) 相談支援の仕組みづくり				
計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末 実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末 実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>必要な方には、相談支援機関が積極的にケアマネジメントを進めていきます。特に、継続した支援が必要な方に、複数の関係機関が連携し、「個別支援計画」を作成するとともに、適切な相談支援を行うための仕組みを作ります。また、一人ひとりのニーズにあったサービス利用計画の作成が行われるよう、指定相談支援事業者と福祉事務所の連携体制を整えていきます。</p>			<p>自立支援協議会において、連携をテーマに議論を継続して進めました。サービス利用計画の作成については4件のみにとどまっています。なお、相談支援事業所が中心となり個別支援会議を開催していく仕組みの確立など、具体的に実施を進めていくことが課題としてあります。</p>	

推進プラン3 日常生活への支援

(1) 訪問系サービスの充実

計画数値	平成19年度末現況	居宅介護 利用者数:381人 利用時間:4,544時間	(参考)平成20年度末実績	利用者数:395人 利用時間:4,666時間
	平成25年度末目標	利用者数:489人 利用時間:6,567時間	平成21年度末実績	利用者数:417人 利用時間:5,449時間
事業内容(概要)		平成21年度進捗状況		
<p>家事や入浴等の介助を行うホームヘルパーを派遣し、日常生活の支援を行います。今後もサービス利用量の増加が見込まれ、ホームヘルパーなどの有資格者の掘り起こしや事業者参入を促すなどサービス基盤を整備していきます。重度障害者等包括支援は、現在、参入事業者が少なく提供体制が整っておりませんが、サービス提供が可能となるよう環境の整備に努めます。また、障害程度区分が非該当と認定された方に対するサービスとして、生活サポート事業を実施しています。</p>		<p>重度訪問介護利用者の施設入所や重度訪問介護から身体介護への支給決定の変更などにより、重度訪問介護の利用者数・時間が減少しています。重度訪問介護以外の訪問系サービスでは、利用者数・時間が増加傾向にありました。今後も利用者数・時間の増加が見込まれ、サービス必要量の確保とともに、障害者のニーズにきめ細く対応できるよう従事者のスキルアップが必要です。</p>		

(2) 短期入所の拡充

計画数値	平成19年度末現況	利用日数:500人日分	(参考)平成20年度末実績	利用日数:494人日分
	平成25年度末目標	利用日数:590人日分	平成21年度末実績	利用日数:532人日分
事業内容(概要)		平成21年度進捗状況		
<p>介護者の病気などにより在宅での生活が一時的に困難になった時などに、短期入所の施設で障害者へ食事や入浴などの必要な支援を行います。医療的ケアが必要な重度の障害者を含めて、地域で短期入所が利用できるよう拡充します。また、精神障害者の短期入所については、グループホームの事業者などと連携して整備に努めます。</p>		<p>平成21年7月にマイルドハート高円寺が開設し短期入所1床の整備がありました。利用日数は横ばい利用者数が微増している状況にありました。在宅における障害者本人や介護者の高齢化などにより、利用者数の増加が見込まれ短期入所の整備が求められています。</p>		

(3) 重度障害者の在宅支援サービスの充実

計画数値	平成19年度末現況	訪問入浴:160回	(参考)平成20年度末実績	174回
	平成25年度末目標	237回	平成21年度末実績	186回
事業内容(概要)		平成21年度進捗状況		
<p>重度の障害があっても住み慣れた地域で自分らしく快適に生活していただけるよう、外出が困難もしくは寝たきりの方に対し、「訪問入浴サービス」、「理美容サービス」や「寝具洗濯・乾燥サービス」を提供します。</p>		<p>訪問入浴の利用者数・利用回数ともに、横ばい傾向でした。利用者一人当たりの利用平均回数は約3回、平成19年度末2.4回と比べて増加しています。</p>		

(4) 日常生活用具給付等の充実

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)		平成21年度進捗状況		
<p>重度の障害者の日常生活の便宜を図り、生活の質を向上するため、介護訓練支援用具等の給付や貸与を行います。また、必要な人が適切に利用できるよう、使用方法や修理などの情報提供や相談の充実を図ります。</p>		<p>日常生活用具の各品目の利用状況は、横ばい傾向でした。使用方法・修理などの情報提供や相談の充実については、日常生活用具給付の受託事業者との連携を強化していく必要があります。</p>		

(5) 支援者の育成と資質向上への支援

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末 実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末 実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>障害特性や障害者のニーズに応えられるヘルパーを養成するため、事業所での研修に専門職員を派遣したり、通所施設での体験研修に参加できる機会を設けるなどの支援を行います。また、求人募集をする際の支援や有資格者の掘り起こし等、地域の障害者の生活を支えるボランティアを育成していきます。また、すぎなみ地域大学と連携などにより、地域の障害者の生活を支えるボランティアを育成してい</p>			<p>すぎなみ地域大学と連携し、ガイドヘルプサービスに関する講座を平成22年度に実施するための準備を行いました。</p>	

(6) 障害者の疾病予防

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末 実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末 実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>生活習慣病予防対策として、区内障害者施設の利用者を対象に障害者施設健診事業を実施し、個別保健指導や健康相談につなげていきます。肢体不自由児者の二次障害や機能低下を防止するために、理学療法士や作業療法士により、一人ひとりにあったきめ細かな補装具相談やリハビリプログラムを実施します。</p> <p>また、精神疾患の悪化防止には、治療継続や服薬管理が重要です。訪問看護の利用を促進し、服薬管理等の医療面のサポート体制を強化していきます。</p>			<p>二次障害予防のために、かかりつけ医での定期受診を推奨する他、一般医療機関で受診困難な障害者へは、保健センターで通所施設ごとの検診を実施しました。また、障害者福祉会館で中途障害者のための生活リハビリ事業に加え、20年度からマイルドハートで専門職による健康、リハビリに関する相談も実施しました。</p> <p>地域移行促進部会では、知的・精神障害者が、自己の健康情報を管理し、服薬管理のサポートとするため「わたしの健康ノート」を作成に取り組みました。</p>	

推進プラン4 入所施設(長期入院)から地域生活への移行促進

(1) 入所施設から地域生活への移行促進

計画数値	平成19年度末現況	7人	(参考)平成20年度末実績	6人
	平成25年度末目標	平成21年度からの累計70人	平成21年度末実績	13人
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>障害者入所施設の利用者の中には、地域において必要な支援や条件が整えば区内のグループホーム・ケアホームなどでの生活が可能ながいます。地域移行型入所施設であるすだちの里すぎなみの活用や、ケアマネジメント手法による相談支援を基にして、積極的に施設入所者の地域移行を促進していきます。</p>			<p>入所施設からの地域移行は、区内におけるグループホーム・ケアホームの整備が進み、入所施設から13名(内、すだちの里すぎなみから4名)の地域移行がありました。</p>	

(2) 精神障害者の退院促進

計画数値	平成19年度末現況	2人	(参考)平成20年度末実績	4人
	平成25年度末目標	平成21年度からの累計50人	平成21年度末実績	3人
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>退院可能な長期入院患者のうち希望する方に対し、自立生活支援センターを中心としたケアチームを設置し、住居の確保や地域生活を継続するための必要な支援を行います。具体的には、退院にあたっての不安を解消するため、退院前に通所施設の体験や当事者サポーターとの交流等を行います。また、退院後は、保健センターが訪問看護事業所、医療機関と連携して、療養支援を行います。</p>			<p>平成21年度の新規対象者5名に対して支援を実施しました。実績として平成21年度内の退院者3名、支援修了者3名でした。なお、協力病院は1ヶ所増え9ヶ所となっています。また、昨年度に引き続き、地域の当事者サポーターが参加する病院内プログラムも1病院で実施しました。</p>	

(3) 地域移行支援体制の強化

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>地域自立支援協議会の中に設置する地域移行促進部会において、地域移行の実例の検証や課題整理を行うとともに、関係機関とのネットワークの構築を図るなど、地域移行支援体制を強化していきます。また、地域での主な移行先となるグループホームやケアホームの整備を進めていきます。</p>			<p>地域移行促進部会では「地域医療」をテーマとして障害当事者、家族、支援者にアンケートを実施し、課題整理をしました。また、相談支援部会では「高齢障害者の支援」「グループホームとの連携」について関係機関と課題共有を行い、ネットワーク構築強化に努めました。</p>	

推進プラン5 住まいの場の確保支援

(1) 居住サポート事業の実施

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
施設や病院などから地域移行する方や一人暮らしを希望する方に対して、単身生活をサポートするため、アパート等の賃貸物件の情報提供、契約手続やその後の見守りなどの生活支援を行う居住サポート事業を自立生活支援センターへの委託により実施します。			自立生活支援センターにおいて、対象者に対してアパートあっせん事業・入居支援事業への紹介やその後の見守り等の生活支援を行ないました。	

(2) アパートあっせん事業・入居支援

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
新しく障害者が対象者として加わった「高齢者等アパートあっせん事業」や「高齢者等入居支援事業」を有効に利用できるように、自立生活支援センターを中心に障害者を支援していきます。			住宅課で実施している高齢者等アパートあっせん事業・入居支援事業を活用して、住宅に困窮している障害者に対し民間アパートのあっせんを行ないました。(カッコ内は実際契約した数) 身体障害者 8名(6名) 知的障害者 1名(1名) 精神障害者 0名(0名)	

(3) 区営住宅の活用

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
障害者が、地域で継続して生活をおくるための住宅施策の推進に向けて、区営住宅の一部を障害者用として計画的に確保していきます。			引き続き区営住宅の入居の優先倍率の実施に取り組んでいます。 なお、区営住宅の活用については、区の施策の関係からも、関係機関との連携を取りながら、進めていく必要があります。	

推進プラン6 援助のある安心な生活の場の確保

(1) グループホーム・ケアホームの確保

① 知的・精神障害者のグループホーム・ケアホームの整備

計画数値	平成19年度末現況	知的GH・CH: 23ヶ所 精神GH・CH: 6ヶ所	(参考)平成20年度末 実績	知的GH・CH: 25ヶ所 精神GH・CH: 6ヶ所
	平成25年度末目標	知的GH・CH: 42ヶ所 精神GH・CH: 12ヶ所	平成21年度末 実績	知的GH・CH: 29ヶ所 精神GH・CH: 7ヶ所
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>自立した生活を希望する方や入所・入院から地域生活への移行に対応するため、グループホーム等の整備を都の補助制度を活用しながら、NPO法人や社会福祉法人などと連携し進めます。また、グループホーム等のサービスの質を確保し、運営をバックアップするための体制やシステムを構築していきます。</p>			<p>グループホーム・ケアホームは賃貸住宅や個人住宅を改修して整備を図っています。平成21年度には知的4ヶ所と精神1ヶ所が整備されました。また、区有地を活用して整備するため、整備・運営法人の募集を開始しました。</p>	

② 身体障害者のグループホームの整備

計画数値	平成19年度末現況	1ヶ所	(参考)平成20年度末 実績	1ヶ所
	平成25年度末目標	2ヶ所	平成21年度末 実績	1ヶ所
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>重度の身体障害者が、地域生活を継続できるよう必要な体験ができるグループホームが、現在、区内に1ヶ所あります。身体障害者のグループホームの事業運営や整備手法を検証するとともに、身体障害者の入所施設の利用状況などを踏まえて、身体障害者のグループホームを整備します。</p>			<p>平成21年10月から身体障害者のグループホームを自立支援給付の対象となり、既に1ヶ所ある身体障害者グループホームを運営する法人と自立支援給付へ移行するよう調整しました。</p>	

(2) グループホーム等のサービスの向上と事業者支援

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末 実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末 実績	充実
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>区内にあるグループホーム等の世話人や生活支援員の資質を向上し、サービスの質を高めるための研修会や情報交換会などを開催します。また、世話人のバックアップ体制や事業者相互の連携体制などについて検討するとともに、グループホーム等の運営方法などに関するガイドラインを利用者や事業者からの意見を取り入れて作成します。</p>			<p>利用者や事業者などによる策定委員会を設置し、グループホーム等の施設整備のあり方や運営方法などに関するガイドラインを作成し、関係する法人等へ配付しました。</p>	

(3) 重度の身体障害者入所施設の整備

計画数値	平成19年度末現況	整備	(参考)平成20年度末 実績	整備・開設準備
	平成25年度末目標	平成21年度開設	平成21年度末 実績	開設
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>社会福祉法人が、重度の身体障害者を対象とする入所施設を平成21年度に開設します。この整備や運営に係る費用の一部を区が補助します。施設は、重複障害者や医療的ケアが必要な方も対象とし、自宅などでの介護が困難な方が入所します。また、施設入所支援事業のほか短期入所事業や通所事業を実施し、在宅での身体障害者を支援する施設としても運営していきます。</p>			<p>平成21年7月に障害者支援施設マイルドハート高円寺を開設しました。施設では施設入所支援の外、通所、短期入所及び相談支援の各サービスを提供しました。</p>	

推進プラン7 安全安心な地域生活の確保

(1) 24時間安心サポート事業の拡充

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
介護者の急病や急用など緊急的な支援が必要になった時に、障害者の安全を守るなどの支援を行う24時間安心サポート事業を実施します。			平成18年度から24時間安心サポート事業として、緊急時のショートステイ(緊急ショート)とヘルパー派遣(緊急ヘルパー)を実施しています。平成21年度には、緊急ショートが3件、緊急ヘルパー1件の利用実績がありました。	

(2) 災害時要援護者支援対策の充実強化

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
災害時に自力で避難することが困難な障害のある方を「地域のたすけあいネットワーク(地域の手)」制度により、震災救援所運営連絡会を拠点とした地域の関係者による協力・連携体制を柱として、多角的に支援するための施策を拡充します。また、災害時に特別な支援を必要とする要援護者の受け入れのための「福祉救援所」の設置や、地域の防火・減災対策のための障害者世帯への火災警報器等取付の助成を行います。			区広報やホームページへ掲載し、地域のたすけあいネットワーク登録者の拡大を図り、平成21年度末現在で5,574名の登録者となっています。また、登録者を民生委員が訪問し、個別避難支援プランの作成を進めました。「福祉救援所」の設置をすすめ、平成21年度末現在で6法人の区内社会福祉法人と協定を締結しています。	

(3) 位置検索システム

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	充実
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
在宅の知的障害者が、行方不明等になった時に早期発見と安全確保のため、介護する方に対し、位置情報端末機器を貸与します。			位置探索事業者へ委託により探索機等の貸与及び衛星回線を利用し位置情報を介護者へ提供しています。平成21年度は、28名の登録があり、256回の探索がありました。	

(4) 緊急通報・火災安全システム

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	実施	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
一人暮らしをする身体障害者が、自宅で急病や事故などに遭われた時に対応するための通報機器を貸与します。また、通報機器により東京消防庁へ通報し、地域の協力体制により救助する仕組みの普及を図ります。			一人暮らしの重度の安全確保のため、実施しています。平成21年度では、緊急通報54台、火災安全システム1台の設置がありました。	

(5) 障害者の虐待防止、権利擁護の仕組みづくり

計画数値	平成19年度末現況	—	(参考)平成20年度末 実績	—
	平成25年度末目標	実施・充実	平成21年度末 実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
障害者に対する虐待・暴力や経済的被害などに関しては、潜在化する場合があります。自立生活支援センター、成年後見センターや福祉事務所などの連携体制を強化するとともに、対応した事例を地域自立支援協議会の相談支援部会で検証し、虐待防止や権利擁護につなげる仕組みをつくります。			委託相談支援事業所連絡会において、相談事例の中から虐待などの対応について情報交換を行いました。	

推進プラン8 雇用の場の拡大・就労支援の促進

(1) 多様な企業就労形態の活用

計画数値	平成19年度末現況	実習生56人	(参考)平成20年度末 実績	53人
	平成25年度末目標	60人	平成21年度末 実績	31人
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
多様な場や就労形態を活用して就労の拡大を図り、障害の重い方の雇用も拡充していきます。区役所実習だけでなく企業内実習の拡充など働く体験の機会と実践的な就労体験の場を増やします。			区役所内でチャレンジ雇用を実施した関係から、区役所実習の人数を受け入れ態勢を3人から2人に変更しました。なお、平成22年度より短時間での就労をよりしやすくするためのステップアップ就労の仕組みを考えました。	

(2) 企業開拓と就労定着支援の充実

①雇用開拓専門員の配置

計画数値	平成19年度末現況	企業開拓専門員1名	(参考)平成20年度末 実績	企業開拓専門員1名
	平成25年度末目標	企業開拓専門員1名	平成21年度末 実績	企業開拓専門員1名
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
障害者雇用支援事業団に雇用開拓専門員を配置するとともに企業が障害者を積極的に雇用してもらえるよう、相談・助言や情報提供などをハローワークとが連携して働きかけていきます。また、区内企業の障害者雇用が促進されるよう産業団体や中小企業主に対する情報提供・啓発に取り組めます。			企業開拓専門員を継続的に配置しています。平成21年度では、企業開拓専門員が区内13社、区外29社へ訪問しました。	

②ジョブコーチ・定着支援アドバイザーの充実

計画数値	平成19年度末現況	ジョブコーチ3人	(参考)平成20年度末 実績	ジョブコーチ3人
	平成25年度末目標	ジョブコーチ3人	平成21年度末 実績	ジョブコーチ3人
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
障害者雇用支援事業団のジョブコーチが障害者の就労支援とともに企業に対し障害者雇用にあたっての仕事内容や職場環境改善を助言・提案するほか、就職後の障害者のアフターケアとして定着支援アドバイザーによる職場訪問や企業・障害者からの相談対応など定着支援に努めていきます。また、安定した生活を送れるよう支援していきます。			平成21年度では、定着支援の訪問件数延べ904件、仕事帰りに就職者が集う「たまり場」事業を13回実施しました。	

③チャレンジ雇用の実施

計画数値	平成19年度末現況	検討	(参考)平成20年度末 実績	検討
	平成25年度末目標	累計4人	平成21年度末 実績	2人
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
区において知的障害者等のチャレンジ雇用を実施し、障害者雇用支援事業団、ハローワーク等と連携を取りながら、一般就労につながるようになっていきます。			知的障害者2名を非常勤パート雇用しました。なお、平成22年度より精神障害者も1名雇用することとしました。	

(3) 求職情報の集中化				
① 就職情報の効果的活用と共有化				
計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末 実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末 実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>迅速・的確に求人对応ができる仕組みを構築するとともに、適切なジョブマッチングにより、就職した障害者が職場に適應できるように努めていきます。</p> <p>また、就労移行支援や就労継続支援、相談支援を行う施設と連携して、ネットワークを構築・運用することにより、これらの関係機関での就労情報の共有化を図っていきます。</p>			<p>雇用支援ネットワーク実務担当者会を定期的に開催して就労情報の共有化に努めました。</p>	

② 就労移行支援事業プログラムの構築				
計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末 実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末 実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>就労移行支援事業に取り組む施設に対して、区と障害者雇用支援事業団が連携して、施設利用者に係る就労移行支援プログラムの作成など、施設への支援を行っていきます。</p>			<p>多機能型の作業所が多く、就労移行支援事業のプログラムを試行錯誤しながら実施しています。雇用支援ネットワークで事業所の取り組みの情報交換を進めました。</p>	

③ ネットワークを活用した就労支援				
計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末 実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末 実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>雇用支援ネットワークを充実し、共通のアセスメントシートを活用して就労に関する実例を検証するなど、障害者就労に取り組む施設と連携して就労支援の仕組みを構築していきます。また、施設での一般就労に向けた取組を促進するため、セミナー等を実施していきます。</p>			<p>雇用支援ネットワーク会議を定例的に開催して、就労担当職員のレベル向上の取り組みました。また、事業団において、ジョブコーチ養成セミナーを開催し述べ40人の方が受講しました。</p>	

(4) 工賃アップのための取り組みの支援				
計画数値	平成19年度末現況	自主生産品の開発拡大	(参考)平成20年度末 実績	ねっとショップの実施
	平成25年度末目標	工賃2.5倍	平成21年度末 実績	工賃1.2倍
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>就労継続支援など通所事業所の利用者の工賃が、向上するよう支援を行います。</p> <p>「すぎなみ仕事ねっと」を有効活用し、区からの発注量の増加などにより受注量の拡大や自主生産品の販路拡大に努めます。また、経営の専門家のアドバイスをもらうなど、戦略的に取り組める仕組みを作っていきます。</p>			<p>自主生産品の開発や販路拡大に努めました。福祉系パンマップの作成やインターネットショップの展開など取り組みを進めました。</p>	

推進プラン9 日中活動の場の再編整備

(1) 通所施設の整備と支援

①生活介護・生活訓練型の通所事業所

計画数値	平成19年度末現況	生活介護95・療養介護2 地域活動支援センター23	(参考)平成20年度末実績	生活介護129人・療養介護3人 地域活動支援センター33人
	平成25年度末目標	生活介護530・療養介護2 地域活動支援センター23	平成21年度末実績	生活介護370人・療養介護3人 地域活動支援センター31人
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>障害が重くても、また加齢によって機能が低下しても、日々の活動を充実することにより、いきいきとした生活をおくれるよう、比較的重度の障害者を対象とする生活介護事業などの通所施設の整備に努めていきます。また、通所施設での事業の充実を施設と連携して進めていきます。なお、自立支援給付による通所施設への移行が難しい小規模な作業所は、地域活動支援センターとして再編整備します。</p>			<p>知的障害者を対象に新たに8人規模の生活介護事業を整備しました。マイルドハート「なでしこ」を整備し、重度の身体障害者の生活介護事業の定員増を図りました。</p>	

②就労型の通所事業所

計画数値	平成19年度末現況	就労移行支援8人・就労継続支援A型1人・就労継続支援B型60人	(参考)平成20年度末実績	就労移行支援18人・就労継続A型2人・就労継続B型269人
	平成25年度末目標	就労移行支援55人・就労継続支援A35人・就労継続支援B565人	平成21年度末実績	就労移行支援44人・就労継続A型8人・就労継続B型502人
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>就労の意欲や能力のある障害者に対しては、一般就労に向けた取組や能力に応じた作業などを行う就労支援型の事業などの通所施設の確保に努めます。就労移行支援や就労継続支援A型への事業移行を積極的に働きかけていきます。</p>			<p>小規模作業所や精神の共同作業所6所が就労移行支援事業所B型に移行しました。就労継続A型事業所が1ヶ所開設しました。就労移行支援事業所が1所、利用者が集まらず廃止となりました。</p>	

(2) 重度の知的障害者通所施設の整備

計画数値	平成19年度末現況	—	(参考)平成20年度末実績	(事業者選定)
	平成25年度末目標	平成21年度開設	平成21年度末実績	1ヶ所
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>重度の知的障害者の通所施設について、利用数の増員などの充実を図るため、区内の通所施設を運営する法人と連携して、重度の知的障害者を対象とする通所施設を整備します。</p>			<p>平成21年度4月にあすなろ作業所の従たる施設として生活介護事業を開始しました。なお、平成23年度さらに1ヶ所増設するため準備しました。</p>	

(3) 障害児の日中支援

※推進プラン1(3)②を参照。

(4) 中途障害者のリハビリテーションの充実

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	訓練修了者数 20名
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	訓練修了者数 18名
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>高次脳機能障害者など中途障害者の退院後の心身のリハビリテーションについて、地域での自立生活ができるように支援します。 個々に目標を設定し、専門職が評価を行い、中途障害者の特性に合わせた今後の生活について、関係機関と連携しながら支援の充実を図っていきます。</p>			<p>訓練修了者が定員を割ってしまいましたが、通所修了時の就労等への移行率は94.4%と高水準でした。</p>	

推進プラン10 社会参加の促進

(1) 外出支援

① 移動支援

計画数値	平成19年度末現況	6,659時間(通学等の支援を含む)	(参考)平成20年度末実績	6,947時間(通学等の支援を含む)
	平成25年度末目標	10,226時間(通学等の支援を含む)	平成21年度末実績	8,609時間(通学等の支援を含む)
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>障害者の社会参加を促進するために、外出の際に付き添いを行うヘルパーなどの有資格者を派遣する「移動支援」を提供します。</p> <p>利用実績が堅調な伸びが続いており、今後の需要の伸びが推測されることから、安定したサービス提供ができるよう体制確保とサービスの質の向上に努めます。</p>			<p>平成21年度から移動支援の基準時間(目安)を25時から50時間としたことから、利用者数は微増でしたが、利用時間は大幅に増加傾向にありました。</p>	

② 通学等の支援

計画数値	平成19年度末現況	—	(参考)平成20年度末実績	—
	平成25年度末目標	平成21年度から実施	平成21年度末実績	未実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>これまで移動支援として実施してきた通学等のための支援を、別の事業として実施します。通学等の際の付き添いをヘルパーなどの有資格者のほか、ボランティアなどの地域の人材が参加できる事業としての仕組みをつくります。</p>			<p>通学等の支援は、学校や学童クラブへの付き添いを想定しており、関係課との調整が必要となるが、調整が整わず実施には至りませんでした。</p>	

③ 福祉交通システムの充実

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>バスや電車など一般公共交通機関を利用することが困難な方の外出に関する相談・情報提供などを行う「杉並区移動サービス情報センター」を平成19年10月に開設し、福祉交通システムの基本的な枠組みを構築しました。今後は、センターを中心とした情報収集・発信機能の強化や関係事業者との連携を進めるとともに、福祉タクシー券交付事業、リフト付タクシー運行事業等の関連施策との調整を図りながら、移動困難者に対する外出機会の確保に向けた取り組みを拡充していきます。</p>			<p>移動に困難な方を対象として、利便性の向上と関係者間の協力体制を構築するための拠点として、杉並区移動サービス情報センターを設置しています。平成21年度には、協力事業者43事業所と934件の相談がありました。</p> <p>杉並区内で福祉有償運送活動を継続する団体に対し助成するとともに、福祉有償運送に必要な福祉有償運転者講習会を実施しました。</p>	

(2) コミュニケーション支援

① 手話・要約筆記の派遣

計画数値	平成19年度末現況	手話通訳34回、要約筆記3回	(参考)平成20年度末実績	手話通訳53回、要約筆記11回
	平成25年度末目標	手話通訳70回、要約筆記10回	平成21年度末実績	手話通訳60回、要約筆記7回
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
<p>聴覚や言語障害などに障害があり、意思疎通に支障のある障害者に、手話通訳者や要約筆記者を派遣します。手話通訳者や要約筆記者の養成や講習会を実施して人材の育成に努めていきます。</p>			<p>手話通訳者と要約筆記者の派遣は、社会福祉協議会、東京手話通訳等派遣センターに委託し実施しました。また、養成講習会は障害者福祉会館で実施しました。</p>	

②それ以外のコミュニケーション支援の検討				
計画数値	平成19年度末現況	検討	(参考)平成20年度末実績	検討
	平成25年度末目標	実施・充実	平成21年度末実績	検討
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
視覚障害者の代読や点訳、知的障害者のコミュニケーション支援の実施に向けての検討します。			聴覚障害者のための代読サービスの実施状況など、他自治体の資料収集等を行い検討しました。その上で試行案を作成し、当事者団体からの意見を求めました。	

(3) 多様な講座・交流の場の整備				
計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
学習や趣味活動のための多様な講座の開催や、障害者同士との交流の場の確保などについて、障害者の希望を取り入れて企画・実施します。			点字講習会39名、パソコン講習会50名、料理教室107名などを実施しました。	

(4) 障害者の区政への参加				
計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
障害者が、直面する課題や社会環境の状況を区民に公表し理解を得る機会として、障害者区議会などを開催します。また、障害者福祉推進協議会や自立支援協議会をはじめ、障害者が一市民として協議会などへ参加し発言できる環境を推進するなど、ノーマライゼーション理念の定着拡大を図ります。			「障害者区議会」は、区議会議場で障害者本人が区制への意見を述べる場として平成14年度から開催しています。平成21年度は、47名の参加者と48名の傍聴者がありました。また、障害者福祉協議会や自立支援協議会では、障害者本人や障害者団体代表者が委員として出席しました。	

(5) 障害者活動の支援				
計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
障害者が主体的な活動をしやすい環境づくりを進めるため、障害者との話し合いを基本とし、活動場所、支援者、グループの紹介などの様々な情報提供を障害者福祉会館、障害者交流館、自立生活支援センター等が中心となって行っています。			平成21年度には、次の障害者活動を支援しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・知的障害者当事者支援「つどい会」12回 ・呼吸器障害者「杉並いぶきの会」12回 ・施設当事者会(オブリガード)9回 ・ピアグループカウンセリング12回 ・高次脳機能障害者若者の会「杉ハイ」12回 	

(6) 生活支援・社会参加促進事業の充実

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末 実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末 実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
障害者の日常生活に必要な訓練や援助など本人活動のための支援や、障害者に対するボランティア活動のための支援を行い、障害者の生活の質的向上を図ります。また、障害者が参加するスポーツや芸術文化活動に係る講座などについて、内容や情報提供の充実に努めていきます。			中途視覚障害者のための情報交換会、呼吸リハビリ教室、聞こえの教室、障害の理解を進める講座などを実施しました。	

(7) 心のバリアフリーの推進

計画数値	平成19年度末現況	実施	(参考)平成20年度末 実績	実施
	平成25年度末目標	充実	平成21年度末 実績	実施
事業内容(概要)			平成21年度進捗状況	
障害の有無にかかわらず、一人ひとりが互いに個性を尊重し支え合う地域社会を実現するためには、相互理解はもとより障害に対する正しい理解と認識を深めることが不可欠です。これまで、「ハート・プラス」ワッペン作成、体験学習やバリアフリー協力店の登録などを行ってきました。今後もさらに、障害者に対する理解を深める視点に立ち心のバリアフリーを推進していきます。			だれもが気持ちよく楽しめる商店街となれるよう、障害者等への接客向上のため「また来たくなるお店づくり」冊子とDVDを作成しました。また、平成20年度から開始した「バリアフリー協力店」は平成21年度末において247事業者となっています。	

○障害福祉サービス 計画数値と利用実績(第1期～)

サービス名		計画数値(第1期)				計画数値(第2期)				利用実績(第1期)			利用実績(第2期)		
		(素案) (平成18年度)	平成19年度	平成20年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成25年度	(平成18年10月)	平成19年10月	平成20年10月	平成21年10月	平成22年3月	
訪問系サービス	居宅介護	身体介護	224人 4,162時間	238人 4,587時間	248人 4,951時間	274人 5,138時間	240人 3,363時間	250人 3,561時間	260人 3,758時間	280人 4,153時間	235人 5,256時間	226人 3,994時間	224人 3,211時間	229人 3,710時間	233人 3,723時間
		家事援助	170人 1,990時間	178人 2,078時間	186人 2,167時間	210人 2,432時間	185人 1,751時間	191人 1,917時間	197人 2,083時間	209人 2,414時間	158人 1,934時間	179人 1,898時間	180人 1,682時間	186人 1,778時間	184人 1,726時間
	重度訪問介護	49人 11,966時間	50人 11,872時間	51人 11,788時間	52人 11,174時間	48人 10,955時間	49人 11,275時間	49人 10,755時間	48人 9,714時間	40人 11,182時間	42人 10,384時間	45人 11,072時間	38人 9,746時間	40人 9,886時間	
	重度障害者等包括支援	2人 862時間	3人 1,282時間	4人 1,695時間	10人 4,144時間	0人 0時間	0人 0時間	2人 840時間	6人 2,520時間	0人 0時間	0人 0時間	0人 0時間	0人 0時間	0人 0時間	0人 0時間
	行動援護	2人 50時間	5人 129時間	8人 212時間	20人 568時間	12人 360時間	14人 416時間	15人 472時間	18人 584時間	1人 2時間	9人 215時間	10人 231時間	11人 275時間	10人 331時間	
	訪問系サービス 計	447人 19,030時間	474人 19,948時間	497人 20,813時間	566人 23,456時間	485人 16,430時間	504人 17,169時間	523人 17,907時間	561人 19,385時間	434人 18,374時間	456人 16,490時間	459人 16,196時間	464人 15,509時間	467人 15,666時間	
日中活動系サービス	通所系サービス	生活介護	69人	92人	101人	327人	320人	450人	520人	530人	63人	70人	118人	349人	357人
		自立訓練(機能訓練)	12人	19人	21人	39人	21人	22人	27人	30人	1人	4人	4人	2人	3人
		自立訓練(生活訓練)	3人	12人	30人	100人	16人	16人	18人	20人	0人	4人	5人	30人	31人
		就労移行支援	5人	28人	52人	160人	40人	50人	52人	55人	3人	7人	11人	30人	34人
		就労継続支援 A型	0人	40人	50人	91人	5人	10人	15人	30人	0人	1人	2人	4人	6人
		就労継続支援 B型	1人	82人	209人	423人	345人	550人	555人	565人	2人	52人	173人	398人	405人
		療養介護	2人	2人	2人	2人	3人	3人	3人	3人	2人	2人	3人	3人	3人
		経過措置施設	503人	417人	308人	0人	160人	0人	0人	0人	456人	427人	405人	137人	104人
		法定外通所施設	339人	279人	105人	0人	103人	64人	0人	0人	354人	284人	232人	152人	164人
		児童デイサービス	80人	88人	96人	130人	105人	105人	115人	115人	69人	77人	80人	83人	71人
通所系サービス 計	1,014人	1,059人	974人	1,272人	1,118人	1,270人	1,305人	1,348人	950人	928人	1,033人	1,188人	1,178人		
短期入所	95人 475人日分	100人 500人日分	105人 525人日分	120人 600人日分	110人 550人日分	112人 560人日分	114人 570人日分	118人 590人日分	86人 372人日分	99人 496人日分	103人 531人日分	124人 515人日分	119人 532人日分		
居住系サービス	共同生活援助(グループホーム)	50人	54人	66人	94人	65人	77人	100人	115人	38人	42人	51人	64人	63人	
	共同生活介護(ケアホーム)	75人	82人	98人	142人	115人	136人	140人	168人	64人	71人	90人	108人	109人	
	法定外グループホーム	27人	27人	27人	25人	23人	23人	23人	14人	27人	27人	23人	9人	8人	
	グループホーム等計	152人	163人	191人	261人	203人	236人	263人	297人	129人	140人	164人	181人	180人	
	施設入所支援	15人	46人	75人	284人	130人	209人	294人	284人	8人	14人	29人	109人	118人	
	経過措置施設	294人	261人	225人	0人	190人	104人	0人	0人	321人	305人	285人	200人	183人	
入所施設計	309人	307人	300人	284人	320人	313人	294人	284人	329人	319人	314人	309人	301人		
相談支援(サービス利用計画作成)	30人	120人	130人	150人	12人	20人	27人	42人	0人	0人	0人	6人	6人		

※居宅介護は、身体介護に通院介助(身体あり)、家事援助に通院介助(身体なし)を含んでいますが、乗降介助は含んでいません。

○地域生活支援事業 計画数値と利用実績(第1期～)

サービス名	(単位)	障害福祉計画(第1期)			＜参考＞障害福祉計画(第2期)				利用実績(第1期)					利用実績(第2期)	
		平成19年度	平成20年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成25年度	平成19年3月	平成19年10月	平成20年3月	平成20年10月	平成21年3月	平成21年10月	平成22年3月
(1)相談支援事業															
①障害者相談支援事業所	(設置数)	3ヶ所	6ヶ所	7ヶ所	6ヶ所	7ヶ所	7ヶ所	7ヶ所	3ヶ所	3ヶ所	3ヶ所	5ヶ所	5ヶ所	6ヶ所	6ヶ所
②地域自立支援協議会	(設置数)	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体	—	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体
(2)コミュニケーション支援															
①手話通訳者派遣	(月間派遣回数)	52回	54回	60回	50回	55回	60回	70回	29回	34回	36回	47回	53回	40回	89回
②要約筆記者派遣	(月間派遣回数)	3回	5回	6回	6回	7回	8回	10回	1回	3回	9回	7回	11回	5回	8回
(3)日常生活用具給付															
①介護訓練支援用具	(年間件数)	42件	43件	50件	28件	30件	32件	36件	16件	24件	31件	27件			
②自立生活支援用具	(年間件数)	94件	98件	106件	58件	60件	62件	66件	24件	54件	93件	70件			
③住宅療養等支援用具	(年間件数)	58件	61件	67件	35件	35件	37件	39件	17件	34件	35件	44件			
④情報・意思疎通支援用具	(年間件数)	136件	140件	148件	150件	170件	180件	200件	55件	83件	127件	93件			
⑤排泄管理支援用具 ※	(年間件数)	4,700件	4,750件	4,900件	9,450件	9,550件	9,650件	9,850件	2,397件	5,192件	5,236件	5,345件			
⑥住宅改修費	(年間件数)	33件	34件	38件	28件	28件	30件	32件	8件	15件	24件	16件			
(4)移動支援事業															
	(月間利用者数)	270人	275人	290人	428人	444人	461人	494人	351人	412人	419人	441人	462人	488人	482人
	(月間利用時間)	5,580時間	5,819時間	6,510時間	8,167時間	8,833時間	9,285時間	10,226時間	6,055時間	6,496時間	6,659時間	6,754時間	6,947時間	8,557時間	8,609時間
(5)地域活動支援センター															
①作業型	(月間利用者数)	50人	94人	122人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	(施設数)				0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所
②活動支援型	(月間利用者数)	92人	180人	261人	38人	78人	78人	78人	22人	23人	23人	26人	23人	31人	31人
	(施設数)				1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
(6)盲人ホーム															
	(月間利用者数)	12人	13人	15人	12人	12人	13人	14人	11人	11人	10人	11人	10人	9人	9人
(7)訪問入浴サービス															
	(月間利用者数)	66人	67人	72人	70人	71人	72人	74人	65人	66人	60人	63人	63人	61人	64人
	(月間利用回数)	233回	239回	256回	210回	217回	223回	237回	156回	190回	160回	187回	174回	186回	186回
(8)日帰りショート															
	(月間利用者数)	50人	50人	51人	52人	54人	55人	58人	26人	27人	36人	49人	68人	65人	70人
	(月間利用日数)	36人日分	38人日分	38人日分	55人日分	57人日分	59人日分	63人日分	22人日分	23人日分	33人日分	45人日分	60人日分	71人日分	65人日分
(9)生活サポート															
	(月間利用者数)	3人	5人	10人	2人	3人	3人	5人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	(月間利用時間)	30時間	50時間	100時間	20時間	30時間	30時間	50時間	0時間	0時間	0時間	0時間	0時間	0時間	0時間
(10)更生訓練費・施設入所者就職支度金給付															
①更生訓練費給付事業	(月間利用者数)	26人	27人	31人	25人	26人	26人	27人	25人	22人	16人	24人	26人	15人	13人
②施設入所者就職支度金給付事業	(年間利用者数)	2人	2人	3人	2人	2人	3人	4人	1人	0人	0人	1人	1人	0人	1人
(11)生活支援事業															
①日常生活に関する講座	(年間件数)	7件	8件	10件	12件	13件	13件	14件	8件	12件	23件	37件			
②本人活動の交流会等	(年間件数)	65件	67件	70件	42件	43件	44件	46件	35件	40件	42件	35件			
(12)社会参加促進事業															
①スポーツ・芸術文化催し等	(年間件数)	18件	18件	20件	30件	31件	31件	32件	26件	26件	60件	80件			
②自動車運転免許取得助成	(年間利用者数)	6人	6人	7人	7人	7人	7人	8人	6人	3人	3人	5人			
③自動車改造費助成	(年間利用者数)	6人	6人	7人	7人	7人	7人	8人	6人	5人	8人	3人			

※ 入所・通所施設などの数値は、月末の数値を記入しています。
 ※ 日帰りショートの日間利用日数は、日数換算した数値を示しています。
 ※ 第2期計画数値の排泄管理支援用具は、「おむつの支給」を含んでいます。

○障害福祉計画の目標数値と進捗状況

1 福祉施設からの一般就労者数

	(素案) 第1期__計画数値				第2期__計画数値				実績			
	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 23年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 25年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
就職者数	25人	30人	35人	50人	50人	50人	50人	50人	28人	29人	29人	18人
累計	—	30人	65人	200人	50人	100人	150人	250人	—	29人	58人	76人

※計画数値の累計は、各計画期間における数値を示している。

2 入所施設からの地域移行数

	(素案) 第1期__計画数値				第2期__計画数値				実績			
	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 23年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 25年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
地域移行者数	2人	10人	18人	13人	13人	14人	14人	15人	4人	7人	6人	13人
累計	—	10人	28人	65人	13人	27人	41人	70人	—	7人	13人	26人
施設入所者数	309人	307人	300人	284人	308人	300人	294人	284人	313人	308人	304人	296人
都外施設入所者数	155人	150人	145人	130人	149人	143人	137人	130人	155人	156人	155人	145人
構成比	50.2%	48.9%	48.3%	45.8%	48.4%	47.7%	46.6%	45.8%	49.5%	50.6%	51.0%	49.0%

3 精神科病院からの精神退院促進者数

	(素案) 第1期__計画数値				第2期__計画数値				実績			
	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 23年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 25年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
退院促進者数	2人	6人	7人	15人	10人	10人	10人	10人	0人	2人	4人	3人
累計	—	6人	13人	48人	10人	20人	30人	50人	—	2人	6人	9人

平成22年度杉並区障害者基礎調査（案）について

1 調査目的

障害者計画・障害福祉計画の改定及び障害者施策をより効果的に実施するため、障害者の生活実態やサービスの利用意向等を把握する調査を行う。

2 調査内容

(1) 調査対象 約5,000人

調査の対象は、各障害区分の障害内容等と年齢階層に応じた対象者総数から無作為に抽出する。

(2) 調査項目

後述の内容参照

(3) 実施スケジュール（予定）

平成22年10月下旬 調査項目及び調査票の確定

11月上旬 障害者基礎調査業務委託契約締結、調査対象の抽出

12月上旬 調査票発送

12月末 調査票回収

平成23年3月中旬頃 「平成22年度障害者基礎調査報告書」納品

~~~~~以下、アンケート様式（案）~~~~~

みなさまには、日頃から福祉行政にご理解をいただき、誠にありがとうございます。

さて、杉並区では、保健福祉計画（障害者計画）と障害福祉計画の改定にあたり、みなさまの生活状況やサービスの利用意向などを把握するため、身体障害者手帳をお持ちの中から無作為に抽出した方を対象として「地域生活に関する調査」を実施いたします。

ご回答の内容につきましては、調査の目的にのみ活用し、個人のプライバシーが公表されることはございません。みなさまにはお手数をおかけいたしますが、この調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成22年12月 杉並区

ご記入にあたってのお願い

※記載内容 省略

- ・記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

**無記名で、12月 日（ ）までに** ご返送ください。

- ・調査についてのご質問、不明な点についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

杉並区保健福祉部障害者施策課「地域生活に関する調査」担当 TEL 03-3312-2111

内線1142

はじめに、あなた（ご本人）ご自身についておたずねします。

問1 あなた（ご本人）の年齢・性別をお聞きます（平成22年12月1日現在）

満（ ）才

1. 男
2. 女

問2 あなた（ご本人）の障害者手帳の障害程度等級は何級ですか？

（ ）級

問3 身体障害の方のみ あなた（ご本人）の主な障害の種類は何ですか？（一つに○）

1. 視覚障害
2. 聴覚障害・平衡機能障害
3. 音声・言語・そしゃく機能障害
4. 肢体不自由
5. 内部障害
6. その他

問3 精神障害の方のみ あなた（ご本人）は、「発達障害」（広汎性発達障害、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害、学習障害 等）と診断されていますか？（一つに○）

1. いる
2. いない
3. わからない

問3 発達障害の方のみ あなた（ご本人）は、発達障害の症状に気が付いてから、発達に関する専門医療機関の診察を受けましたか？（一つに○）

1. 受けた（現在受けている方も含む）
2. 受けていない
3. わからない

問3 高次脳機能の方のみ あなた（ご本人）が障害を負った原因は何ですか？

1. 脳血管疾患（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）
2. 脳外傷
3. 脳炎・低酸素脳症
4. その他（ ）

問4 あなた（ご本人またはご家族）が、障害に気が付いた（気になった）のは何歳頃ですか？

※生まれてすぐに気が付いた（気になった）場合には0歳とご回答ください。

（ ）歳頃

問5 あなた（ご本人）の家計を主に支えている人は、どなたですか？（一つに○）

1. あなたご自身（年金、手当含む）





8. 受診していない

問13 あなた（ご本人）は、区内などのお近くに日常的なかかりつけ医療機関がありますか？

1. ある                      2. ない

変更    かかりつけ  
医の有無を聞く

問14 あなた（本人）が通院に要する時間は、通常、片道どのくらいですか？

1. 15分未満  
2. 15分以上30分未満  
3. 30分以上1時間未満  
4. 1時間以上2時間未満  
5. 2時間以上

新規  
通院にかかる時間  
を聞く

問15 あなた（ご本人）が通院の際に利用する通常交通手段は何ですか？

（複数回答可）

1. 電車  
2. バス  
3. タクシー  
4. 自家用車  
5. 自転車・徒歩のみ  
6. その他（                      ）

新規  
通院の手段を聞く

問16 あなた（ご本人）は、定期的に健康診断や歯科健診を受けていますか？

（当てはまるものすべてに○）

1. 基本健診（血圧測定、血液検査、尿検査等）を受けている  
2. がん健診（胃がん・子宮がん、乳がん、肺がんなど）を受けている  
3. 歯科健診を受けている  
4. どちらも受けていない

杉並区の障害者へのサービスについてお聞きします。

問17 ①～④のサービスについて、あなた（ご本人）の利用状況をお答えください。

利用している場合は（ ）にサービスの数字をすべて書いてください。

- ①. 居宅介護サービス（自宅内での介護サービス）  
②. 外出介護サービス（余暇や社会参加のための付き添いサービス）  
③. グループホームなど少人数での居住サービス  
④. ショートステイサービス

1. 利用している（                      ）    2. 利用していない

問18 （問17で「利用していない」とお答えの方） 今後の利用意向をお答えください。

「今後は利用したい」方は利用したいサービスの数字を（ ）内にすべて書いてください

1. 今後は利用したい（ ）
2. 今後も利用する予定はない
3. わからない

問19 あなた（ご本人またはご家族）は、ご本人のための福祉サービスの情報を、どこで知りますか？（当てはまるものすべてに○）

1. 相談などの窓口
2. パンフレット、広報紙など
3. インターネット
4. 情報を得るところがない
5. その他

変更  
情報の取得方法

問 視覚障害者のみ あなた（ご本人）は、点字が読めますか？

1. 読める
2. まあまあ読める
3. あまり読めない
4. 読めない

問 聴覚障害者のみ あなた（ご本人）は、手話ができますか？

1. できる
2. まあまあできる
3. あまりできない
4. できない

問20 あなた（ご本人またはご家族）は、ご本人の日常生活のことや福祉サービスについて相談できる人はいますか？

1. いる
2. いない

問21 あなた（ご本人またはご家族）は、ご本人のことで困ったときに相談する機関はどこですか？（当てはまるものすべてに○）

1. 福祉事務所
2. 保健センター
3. 医療機関や療育機関
4. 障害者相談支援事業所（やなぎくぼ、すだち、オブリガード、いたる相談室、すぎこ、なでしこ、リリーフなど）
5. 通所施設や作業所
6. 障害者団体
7. その他（ ）

回答内容の変更  
発達障害の方は児童相談所、精神  
障害の方は都精神保健福祉セン  
ターを追加







4. 障害者同士で働くことがいやである。
5. 作業所での行事や活動が面白くない
6. 自分が望んでいる支援をしてくれない
7. その他

問38 あなた（ご本人）は、今の施設をやめて一般就労したいと思いますか？

1. 思う
2. 思わない

問39（問30で「仕事をしていない」とお答えの方に）日中、主にどこで過ごしていますか？

1. 自宅にほとんどいる
2. 生活介護事業などの通所施設
3. 学校や訓練機関
4. その他

問40（問30で「仕事をしていない」とお答えの方に）

あなた（ご本人）の今後の意向をお聞きます。

1. 仕事をしてみたい
2. 仕事をするための訓練をしてみたい
3. 作業所や授産施設を利用したい
4. 今の生活のままでよい
5. わからない

### 問41からはすべての方がお答えください。

問41 この調査票にご回答いただいた方、どなたですか？

1. ご本人
2. ご家族
3. その他

問42 あなた（ご本人）は、これまでに自分が障害者であることを理由に嫌な思いをしたり偏見をもたれたりしたことがありますか？

1. 大いにある
2. 少しはある
3. あまり無い
4. まったく無い

問43 障害のある人に関する杉並区の施策のうち、あなたがもっと力を入れる必要があると思うものを3つまであげてください。

1. 障害のある人々への理解を深めるための啓発・広報活動
2. ホームヘルプ・ガイドヘルプなど在宅サービスの充実
3. 障害のある方が利用できる福祉施設の充実
4. 障害に応じた職業訓練の充実や雇用の確保

新規  
杉並区の障害者保健福祉  
社の評価として聞く

5. 保健医療サービスやリハビリテーションの充実
6. 生活の安定のための年金・手当の充実
7. 障害のある人に応じた情報提供の充実
8. 障害のある人々を支援するヘルパーやボランティアの育成・支援
9. 障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備
10. 障害のある子どもへの支援体制や教育の充実

問44 今後10年間の杉並区に望むことは何ですか？（自由にお書きください）

〔

新規  
杉並区の施策の方  
向性を聞く

## 会 議 記 録 (要 旨)

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                         |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 名 称 | 平成 22 年度 第 2 回杉並区障害者福祉推進協議会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                         |
| 日 時     | 平成 22 年 10 月 21 日 (木) 午後 2 時から 3 時 30 分                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                         |
| 場 所     | 杉並区役所本庁舎西棟 8 階第 9 会議室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                         |
| 名 簿     | 委 員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | (敬称略)<br>助川・伊東・山田・斎藤・西川・高橋 (博)・丸山・島本 (山本委員代理)・西山・鈴木・窪田・小川・松浦・土屋・佐藤・高橋 (利)・間彦<br>(欠席) 笠原・杉原・小林・小宮山・日高・木全 |
|         | 幹 事                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 和久井障害者施策課長・末久障害者生活支援課長・森山福祉事務所高井戸事務所担当課長・和久井高齢者施策課長・後藤児童青少年課長<br>(欠席) 遠藤保健福祉部長・井山保健福祉管理課長・河合保健予防課長      |
|         | 事務局                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 障害者施策課 (井上・阿部・福原・本館) 障害者生活支援課 (平沢・鈴木)<br>保健予防課 (櫻井)                                                     |
| 配布資料    | <b>【配布資料】</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料 1 障害者生活支援課からの報告</li> <li>○ 資料 2 平成 22 年度障害者週間事業について</li> <li>○ 資料 3 第 2 期障害福祉計画の進捗状況について</li> <li>○ 資料 4 平成 22 年度杉並区障害者基礎調査 (案)</li> <li>○ 参考資料 平成 21 年度杉並区保健福祉サービス苦情調整委員運用状況報告書</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                         |
| 会議次第    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害者施策課長の開会挨拶</li> <li>2 会長挨拶</li> <li>3 報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 障害者生活支援課からの報告 (資料 1)</li> <li>(2) 平成 22 年度障害者週間事業について (資料 2)</li> <li>(3) 第 2 期障害福祉計画の進捗状況について (資料 3)</li> </ul> </li> <li>4 議題 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 22 年度杉並区障害者基礎調査内容について (資料 4)</li> </ul> </li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>                                                                                  |                                                                                                         |
| 会議の要旨   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害者施策課長の開会挨拶</li> <li>2 会長挨拶</li> <li>3 報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 障害者生活支援課からの報告 (資料 1)</li> <li>(2) 平成 22 年度障害者週間事業について (資料 2)</li> <li>(3) 第 2 期障害福祉計画の進捗状況について (資料 3)</li> <li>(4) 質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジ雇用については、特別支援学校高等部の新卒者も対象となるか。<br/>⇒まだ対象者については決まっていないが、イメージとしては障害の重い方を対象として考えているところ。</li> <li>・障害福祉計画の推進プラン 1 「(2) 保育園・幼稚園への支援」において、</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol> |                                                                                                         |

「幼児期の支援を学校での支援に活かすためのより効果的な手法について、巡回指導体制を見直すことが必要」とされているが、具体的にはどのように見直すのか。

⇒巡回指導体制の重要性については、区としても認識しているところである。

現在、幼児期の支援については就学前の障害児指導のあり方検討会にて議論しているところであるため、議論を踏まえて対応していきたい。

・地域デイサービス事業者の法人化も含めて、児童期、中高生の日中活動の場の充実をお願いしたい。

⇒特に中高生の放課後の居場所が少ないことは問題認識しているところだが、地域デイサービスの充実等はなかなか難しい。引き続き検討していきたい。

・来年3月に高等部を卒業する重度障害者の方から、日中活動の場について相談があった。日中活動場所の整備について伺いたい。

⇒身体障害者については、昨年マイルドハート高円寺を整備した。知的障害者については、ワークみらいという作業所ができた。また、来年4月には定員8名の重度知的障害者通所施設を開設する予定である。

・精神障害者の退院促進事業については、杉並区は積極的に独自施策を行っており、高く評価している。退院促進事業を行う上での課題は何か。

⇒退院を希望する場合であっても、本人と家族の意向が一致しない場合には支援が難しいことがある。また、区内に精神病院がないことから、今後協力病院との連携がますます重要になってくる。

#### 4 議題

(1) 平成22年度杉並区障害者基礎調査内容について(資料4)

(2) 質疑応答

・知的障害者の場合は本人が記入するのか、それとも家族等が記入するのか。本人が記入する場合には、ふりがなをふる必要があるのでは。

⇒本人以外の者が答えることも可能である。また、知的障害者向けの調査票には全てふりがなをふる予定である。

・今年9月に都市計画課が実施したバリアフリーに関するアンケート調査に、障害者に協力してもらったが、調査のボリュームが多く、記入者の負担が大きかった。基礎調査ではその点にも考慮いただきたい。

⇒質問数については、年齢等により答えるところ、答えなくてよいところがあるため、実際に答える質問数は44より少なくなる。

・問33の「今の勤め先での仕事」、問36の「今の施設での仕事」について、「満足していない」と回答する人が多かった場合、杉並区としてはどう対応するのか。

⇒「満足していない」との回答が多かった場合には、調査結果を分析した後、必要に応じて検討することとしたい。

・視覚障害者は全員が点字を読めるわけではないが、調査票はどのような形で送付するのか。

⇒点字と活字の両方をつけてご案内する。また、区が電話で聞き取りながら調査票を書き取ることも可能である。必要に応じて家族などに記入しても

らうことも考えられる。

- ・問43では、区の施策の中からもっと力を入れる必要があるものを3つ選ぶこととしているが、3つに限定せずいくつでも選択できるようにしてはどうか。

⇒区で重点的に取り組むべき施策をある程度絞り込む必要があることから、今回は3つまでということでご回答いただきたい。

- ・調査対象となる精神障害者の中には、精神的に不安定になっている人も多いため、調査対象者の抽出には注意する必要がある。
- ・問21の「困ったときの相談機関」について、発達障害児にのみ児童相談所を、精神障害者にのみ都精神保健福祉センターを選択肢に追加することとされているが、知的障害者についても相談機関として利用する場合がありますので、障害別に限定しない方がよいのではないかと。

⇒必要な選択肢がない場合には、その他の欄に記入していただきたい。

- ・問17の「サービス」について、選択肢の「④ショートステイサービス」のみ限定的すぎると感じられるが、地域デイサービス等の日中通所系サービスとしてまとめて聞いてはどうか。

⇒日中通所系サービスについては、仕事の関する質問と絡めて、問31や問39にて聞くこととしている。

- ・問25の「学校の種類」について、「視覚（聴覚）障害特別支援学校小学部（中学部）」とあるが、盲学校や聾学校として理解している人も多いため、より分かりやすい表記にしてはどうか。

⇒工夫して分かりやすい表記にしたい。

- ・問41では、回答者が誰かを聞いているが、調査票の冒頭で聞いてはどうか。

⇒回答者について聞く箇所については冒頭としたい。

調査内容については、大まかにはご了承いただいたものと理解し、次回3月の協議会では調査の結果を報告したい。

## 5 その他

- ・点字の資料を事前にいただけて大変感謝しているが、活字の資料のページ番号が点字の資料で分かるように工夫していただきたい。
- ・松庵2丁目グループホームについては、現在までに地域住民向け説明会を4回開催したところであるが、一部の住民の理解がなかなか得られていないのが現状である。反対派住民に対しては、理解していただけるように引き続き説明していく。
- ・毎年12月に実施してきた障害者区議会については、今年度は実施しない。別途、障害者本人から意見を聞く機会を設けたい。

※次回日程 3月中旬ごろ

## 6 閉会